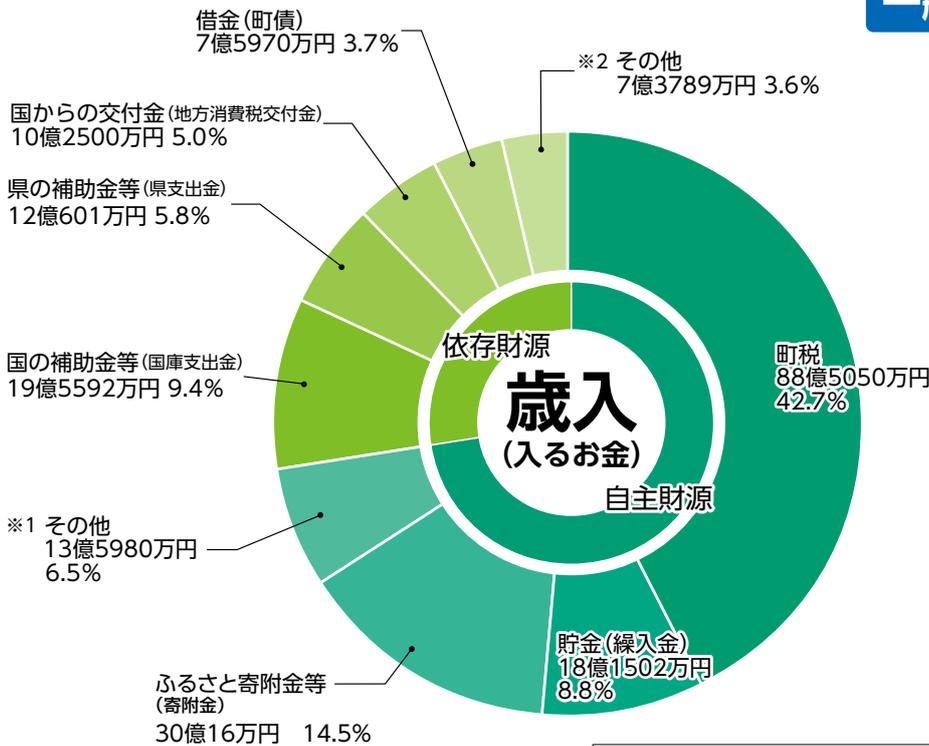


1000万円を計上!!

一般会計予算額の内訳



町民税、固定資産税、寄附金などの独自に確保できる収入

自主財源
150億2548万円
72.5%

国・県などの補助金、交付金や町債など

依存財源
56億8452万円
27.5%

※1の内訳…諸収入、繰越金、分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入
 ※2の内訳…地方譲与税、その他
 ※3の内訳…投資・出資金、貸付金、積立金、予備費

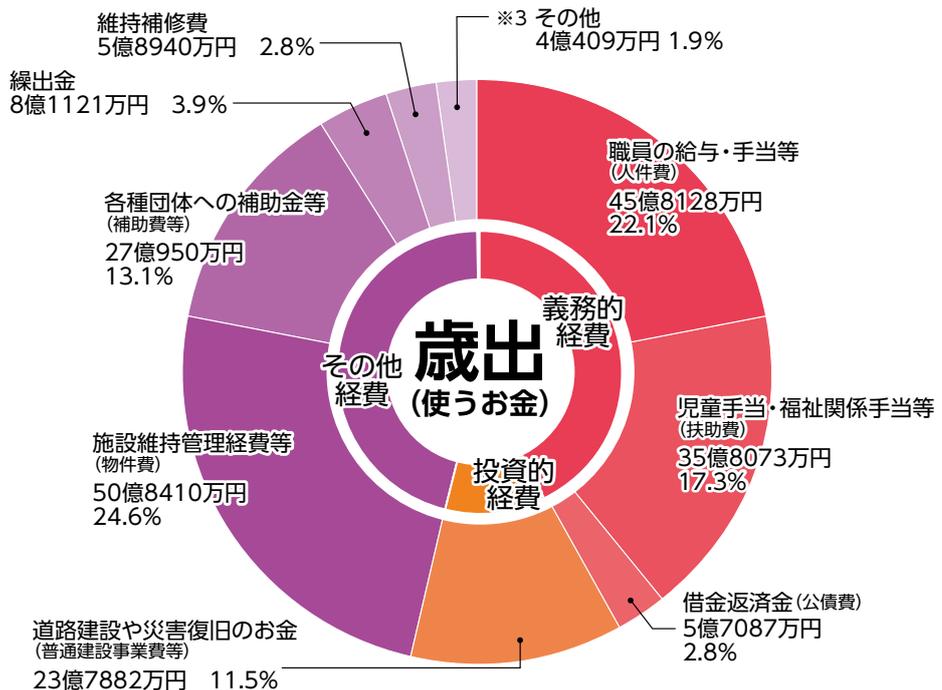
人件費、扶助費など、義務づけられている経費

義務的経費
87億3288万円
42.2%

普通建設事業費と、災害復旧費で、固定的な資本の形成に向けられる経費

投資的経費
23億7882万円
11.5%

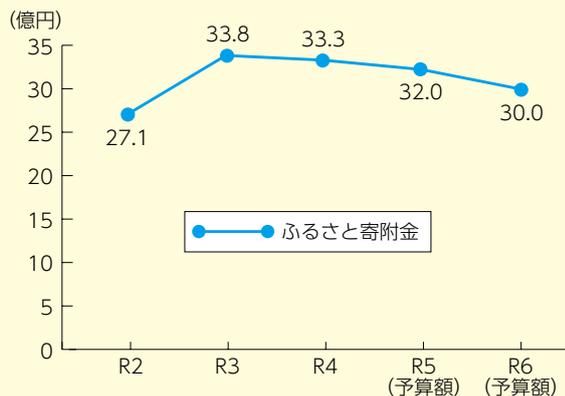
その他経費
95億9830万円
46.3%



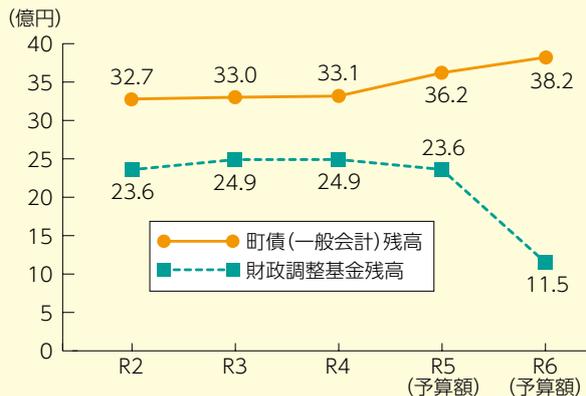
町村合併70周年記念事業を含む

過去最大の207億

■ふるさと寄附金の推移



■基金(貯金)残高・町債(借金)残高の推移



■予算特別委員会での各会計別の当初予算と採決状況

会計区分	予算額	前年度比(%)	採決の状況
一般会計	207億1000万円	3.2	賛成13：反対1で可決
特別会計	土地取得	1億3886万円 ▲49.8	全員賛成で可決
	国民健康保険	32億5527万円 ▲1.1	賛成13：反対1で可決
	後期高齢者医療	6億7687万円 6.3	賛成13：反対1で可決
	介護保険	25億5971万円 6.7	賛成13：反対1で可決
水道事業会計	収益的支出	8億2919万円 3.2	全員賛成で可決
	資本的支出	5億9313万円 ▲25.5	
下水道事業会計	収益的支出	16億3790万円 114.4	全員賛成で可決
	資本的支出	7億3158万円 24.2	
合計	311億3251万円	3.8	

※予算特別委員会は議長を除く15人で構成され、委員長は賛否に加わることができません。(賛否同数の場合は除く)



福祉・暮らし応援を最優先に

丸山千代子議員

町村合併70周年記念事業を聖域とし、坂崎児童館建設や他事業など削減した。基金や起債、ふるさと寄附をあて込んだ過去の最大の予算編成は、財政破綻を危惧するもの。コロナ禍や物価高騰など町民生活が圧迫されている。福祉・暮らし応援を最優先にすべきである。



懸念事項を理解して再エネ調査を

藤本和美議員

「公共施設再エネ導入ポテンシャル調査委託料」は、国が自治体に出した目標に沿った事業と理解した。しかし一方、太陽光パネルは懸念点も多い。事業の運営に当たり、国や県や世界情勢も考慮し、設置場所やパネルの種類についても慎重で多角的な調査となるようお願いする。



バランスのとれた攻めの予算

松本忠明議員

幸田町の将来を見据え、全ての分野、年代層にきめ細かく配慮された施策にバランスよく配分されている。また、町村合併70周年を契機として、守りの財政運営に区切りをつけ、活気溢れる町づくりを積極的に進めていくぞ！という思いのこもったこの予算を全面的に支持する。